

授業科目名	舞台芸術基礎実習	担当教員	杉山 至・山内 健司・近藤 のぞみ・河村 竜也・島村 和秀・山谷 典子
必修の区分	選択		
単位数	2単位		
授業の方法	実習		
開講年次	1年 第3クォーター		
講義内容	<p>舞台芸術実習 A, B, C, D と展開していく科目の基礎に位置付けられる。舞台芸術実習にて上演する作品を創作するための主に劇場技術スタッフの基礎的な事柄について実習と簡単な創作を通して実地に体験・学習する。</p> <p>プロの演出家やスタッフの指導のもと学生は制作や舞台美術・照明・音響、衣装といったスタッフワークおよび俳優を担うことで、舞台芸術についての体験的学習を通して技術と知識の基礎について包括的に習得していく。</p>		
到達目標	<p>1. 関連する講義や演習での基礎的な事柄について知見を得る。 2. またそれらを実践感覚をもって検証(反省)することができる。 3. スタッフワークの方法を実際の上演を通して、チームでつくりあげていく舞台芸術の基礎について実地の知見を得る。</p>		
授業計画	<p>舞台芸術実習 A, B, C, D と展開していく科目の基礎に位置付けられる。舞台芸術実習にて上演する作品を創作するための主に劇場技術スタッフの基礎的な事柄について実習と簡単な創作を通して体験・学習する。</p> <p>各スタッフワークの授業はオムニバスで展開するため、授業スケジュールは担当講師との相談で決定する。内容は以下。(順番は前後する可能性あり)</p> <p>1/授業概要説明ガイダンスとスタッフワーク 1 舞台美術、大道具、劇場 1 2/ スタッフワーク 2 舞台美術、大道具、劇場 2 3/スタッフワーク 3 舞台照明 1 4/スタッフワーク 4 舞台照明 2 5/スタッフワーク 5 舞台音響 1 6/スタッフワーク 6 舞台音響 2 7/スタッフワーク 7 舞台監督 1 および演出 1 8/スタッフワーク 8 舞台監督 2 9/スタッフワーク 9 舞台衣装 10/スタッフワーク 10 演出 2 と創作 11/スタッフワーク 11 舞台制作 1 12/スタッフワーク 12 舞台制作 2</p>		
事前・事後学習	授業内で指示		

テキスト	
参考文献	『演劇入門』、平田 オリザ著
成績評価の基準	授業態度（授業中の課題への取り組みや貢献）50% 実習報告書（実習完了報告書含む）50%
履修上の注意 履修要件	
実践的教育	芸術文化分野の実務経験を持つ教員・実習指導者が、その実務経験を生かして教授することから、実践的教育に該当する。
備考欄	定員超過の場合は志望理由等をもとに選考します。 動きやすい格好で参加のこと